正会員　24校4団体

エリザベト音楽大学
近畿大学工学部
呉工業高等専門学校
県立広島大学
山陽女子短期大学
島根県立大学
日本赤十字広島看護大学
比治山大学
比治山大学短期大学部
広島経済大学
広島工業大学
広島国際学院大学
広島国際学院大学自動車短期大学部
広島国際大学
広島修道大学
広島女学院大学
広島市立大学
広島大学
広島都市学園大学
広島文化学園大学
広島文化学園短期大学
広島文教女子大学
安田女子大学
安田女子短期大学
広島県教育委員会
広島市教育委員会
呉市教育委員会
広島県私立中学高等学校協会

準会員　4校

尾道市立大学
福山市立大学
福山大学
福山平成大学

賛助会員　62社

紀伊國屋書店(中四国営業部) / 中国新聞社 / 広島銀行 / 広島信用金庫 /
大学生協(中国・四国事業連合) / 広島電鉄 / モルテン / 凸版印刷(中四国事業部) /
進研アド(中・四国支社) / 広島商工会議所 / 中電工(広島統括支社) /
リクルートマーケティングパートナーズ / もみじ銀行 / 五洋建設(中国支店) / 清水建設（広島支店) /
熊平製作所 / 合同総研 / 広島リバーサイドホテル / 丸善雄松堂(広島支店) /
広島市信用組合 / 日建設計(中国支所) / 大日本印刷(情報イノベーション事業部中四国営業本部) /
西日本電信電話(広島支店) / フジタ(広島支店) / 野村證券(広島支店) /
コトブキシーティング(中四国支店) / 近畿日本ツーリスト中国四国(広島支店) /
SMBC 日興証券(株)広島支店法人部法人課/ 広島管財 / アポアエンジニアリング / 呉信用金庫 /
中国電設工業 / A・I・C 広島マネジメントシェラトングランドホテル広島 /
ひらた学園 IWAD 環境福祉リハビリ専門学校 / オオケン / レターブレス / ムロオシステムズ /
山菊印刷 / ワイテック / むさし / テレビ新広島 / 広島テレビ放送 / 広島ガス / 広島ホームテレビ /
広島マツダ / 日本システム技術 GAKUEN 事業部 / 中国放送 / マイティネット /
パナソニック システムソリューションズ ジャパン / アンデルセン・パン生活文化研究所 / SCSK /
廣告社(広島支社) / ゼネラルスチール / 三菱地所設計(広島事務所) / JTB 中国四国(広島支店) /
岡村製作所（広島支店) / リーガロイヤルホテル広島 / コクヨマーケティング(中国支社) / 酔心 /
田中電機工業 / アスティ / 大方工業所 /

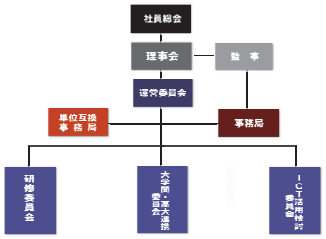
会費・参加費

基本会費	1 会員 22 万円(同一学校法人設置短期大学 10 万円)・短期大学 18 万円 高等専門学校 10 万円・教育団体会費 10 万円、5 万円、3 万円
規模別会費	学部学生数 1 人につき 60 円(短期大学、県外大学、高等専門学校は免除)
賛助会費	1 口 3 万円
準会費	3 万円
高大連携事業会費	1 高校につき 3 千円(正会員は免除)

理事・監事

代表理事	焼廣　益秀	（広島国際大学学長）
理　　事	青木　信之	（広島市立大学学長）
理　　事	市川　太一	（広島修道大学学長）
理　　事	小谷　幸生	（広島経済大学学長）
理　　事	越智　光夫	（広島大学学長）
理　　事	川野　祐二	（エリザベト音楽大学学長）
理　　事	河野　修興	（広島都市学園大学学長）
理　　事	小山眞理子	（日本赤十字広島看護大学学長）
理　　事	瀬山　敏雄	（安田女子大学・安田女子短期大学学長）
理　　事	田中　宏二	（広島文化学園大学・広島文化学園短期大学学長）
理　　事	鶴　　衛	（広島工業大学学長）
理　　事	中村　健一	（県立広島大学学長）
理　　事	野村　正人	（近畿大学工学部工学部長）
理　　事	湊　　晶子	（広島女学院大学学長）
監　　事	石井　眞治	（比治山大学・比治山大学短期大学部学長）
監　　事	李木　経孝	（広島国際学院大学・広島国際学院大学自動車短期大学部学長）
監　　事	森下　要治	（広島文教女子大学学長）

組織図



学生数　約 54,000 人
教育団体　　高校生

【2017.6.29 現在】

教育ネットワーク中国 —連携と協力をめざして—

一般社団法人教育ネットワーク中国は、広島の高等教育機関が連携・協力することにより、広島の高等教育機関全体が魅力あるものとなり、各大学の学生の多様なニーズに応え、学ぶ意欲をもった人たちにより多くの学習機会を提供することを目的として 1998 年に設立され（設立当初組織名：広島県高等教育機関等連絡協議会）、本年で 20 年目となりました。その間、教育ネットワーク中国が関わる事業は年々増加してきましたが、皆様のご支援とご指導により現在がありますことを深く感謝申しあげます。

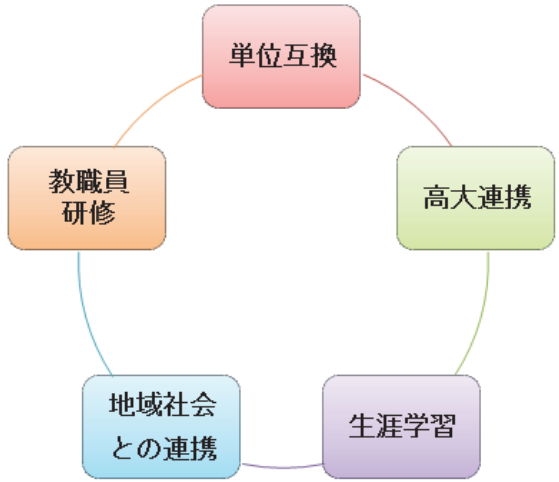
教育ネットワーク中国の事業は地方公共団体、高等学校、企業などと、それぞれが持っている資源を相互に提供し合う形で実施されており、加盟する大学の教職員の連携と協力によって成り立っています。

設立から現在まで

1997.	10. 7	「協力し連携することによって広島の高等教育機関全体がレベルアップし、魅力あるものとなる」ことをめざして、広島修道大学学長、広島工業大学学長が協議会の結成を呼びかける。
	10.31	協議会設置準備会を開催。
	12.15	広島修道大学学長、広島工業大学学長、広島経済大学学長、安田女子大学学長が協議会の設立発起人となる。
1998.	4. 1	広島県高等教育機関等連絡協議会発足。 広島県教育委員会、財団法人広島県教育事業団の協力を得て、30 の大学・短期大学が参加。事務局を広島県生涯学習センターに置く。
1999.	4. 1	単位互換及び生涯学習事業を始める。
2002.	4. 1	広島県高等教育機関協議会と改称、高大連携事業を始める。
2003.	4. 1	大学院単位互換事業を始める。
	11.27	全国大学コンソーシアム協議会設立、呼びかけ団体となる。
2005.	4. 1	教育ネットワーク中国と改称。広島県私立中学高等学校協会加盟。
2006.	4. 1	広島市教育委員会、呉市教育委員会加盟。
	6.17	教職員研修会を開始。
2007.	4. 1	高大連携科目等履修生制度の開始。 教育ネットワーク中国設立 10 周年。
	9.15	第 4 回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム開催。 （会場：広島修道大学）
2008.	3.21	中国新聞社との包括的連携協力協定を締結。
	8.20	文部科学省「戦略的大学連携支援事業」採択。（～2010 年度）
	12.25	事務局を広島県自治会館内に移転。
2009.	4. 1	南大阪地域大学コンソーシアムと単位互換制度に係る包括協定締結。 中国新聞キャンパスリポーター募集開始。
	5. 1	「広島県大学コンソーシアム支援事業」補助金受託。（～2011 年度）
2011.	4. 1	一般社団法人登記（一般社団法人教育ネットワーク中国と改称） 広島県留学生活躍支援センター設置。折りづるみこし連参加。
2012.	4. 1	広島県留学生活躍支援センターをひろしま国際センターへ移管。
	4.10	事務局を広島修道大学インターナショナルハウスに移転。
2013.	4. 9	広島県民文化センター5 階 6 階に開設されたサテライトキャンパスに単位互換科目・高大連携公開授業、公開講座・生涯学習講座を提供。
2014.	4. 1	広島県教育委員会加盟。
2015.	4. 1	福山大学、福山平成大学準会員加盟。
2015.	8. 7	シャレオ大学生コンサート開催。
2016.	4. 1	尾道市立大学、福山市立大学準会員加盟。
2016.	9.10	第 13 回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム開催。 （会場：エリザベト音楽大学、広島国際大学 広島キャンパス）
2017.	4. 1	一般社団法人教育ネットワーク中国設立 20 周年。

ロゴマーク
【コンセプト】
教育ネットワーク中国の教育（education)の e とネットワークの n(N の小文字)と中国の c を基に制作しました。小文字 n をその形から橋のイメージを意図したフィクション、ノンフィクション問わず橋を大勢の人々で協力し建造する物語は数多くあり、そのことから、このロゴのテーマに最適に思いました。
その橋の左の卵形をした e から何か新しいものが生まれて橋を渡っていくようなイメージです。設立 10 周年記念の公募で選定しました。

一般社団法人
教育ネットワーク中国
2017



〒730-0803
広島市中区広瀬北町 9-3
広島修道大学インターナショナルハウス内
TEL：082-533-7590　　FAX：082-533-7591
E-mail：office@enica.jp　URL：http://www.enica.jp/

単　位　互　換　事　業

自大学に開講されていない授業科目や学びたい他大学の授業科目を受講することを目的にしている。
単位互換協定を締結した大学の学生は、所属大学の許可を得て出願し、他の大学において取得した単位は学生の所属する大学の単位として認定される。

経緯

1998 年 11 月 27 日、単位互換包括協定を結び、10 大学 9 短期大学が参加して、1999 年 4 月から学部単位互換を始める。
2000 年度から「ボランティア活動」（マツダ財団寄付講義）を開始。
2003 年度から大学院単位互換を 9 大学 14 研究科 30 専攻が参加して開始。
2005 年度から教職課程科目の提供を始める。
2008 年度から「現代マスコミの動きを知ろう」（中国新聞社寄付講義）を開始。
2009 年度から南大阪地域大学コンソーシアムとの広域型単位互換制度を始める。
2010 年度から後期提供科目の追加募集を始める。
2013 年度からサテライトキャンパスひろしまを会場とするサテライト科目を開始。

特色ある科目

＊中国新聞寄付講義　広島大学「現代社会と新聞《～読もう，一緒に考えよう～》」
＊マツダ財団寄付講義　広島修道大学「キャリア形成特殊講義（ボランティア活動）」
＊サテライト科目（グローバル人材育成科目ほか）
＊教職課程科目　エリザベト音楽大学「教育原理」
＊広域型単位互換科目　南大阪地域大学コンソーシアム「キャリアと社会」

履修者数

包括協定校 23 校 ※広域型単位互換 1 校を含む

	1999 度	2003 度	2015 年度	2016 年度
提供科目数	86 科目 →	205 科目 →	227 科目	241 科目
①延べ履修者数	213 人 →	796 人 →	110 人	145 人
②実質履修者数	164 人 →	416 人 →	70 人	114 人

高　大　連　携　事　業

高大連携は、大学の授業科目の高校生への公開を通じて、高校生が大学の高度な教育・研究に触れ、高校教育と大学教育の円滑な接続に資することを目的としている。
提供科目は公開授業（大学の正規の科目）と公開講座（高校生のための科目）から構成されている。

経緯

2002 年 3 月に広島県下 152 高校が参加して高大連携協定を締結。
2002 年 4 月から広島県立、広島市立、呉市立、福山市立、広島県私立各高校が参加して開始。
2003 年度から広島大学附属高校と高大連携協定を締結し 153 校となる。
2005 年度から岩国地区の高校と高大連携協定を締結し 157 校となる。7 月 18 日以降に開講される授業、講座の二次募集を開始。
高大連携委員会の設置。高大連携研究交流会の開催。
三原尾道地区で高大連携公開講座を開講。
2007 度からは備北地区 3 会場で中高大連携公開講座「大学で何を学ぶか」を開講。
2007 年度から 12 大学・短大で高校生の科目等履修制度の開始。
2009 年度から高大連携遠隔授業を中山間地区の高校と実施。
2014 年度からサテライトキャンパスで「大学フェアひろしま」を開催。
広島県教育委員会と高大連携協定締結。（新制度）
2016 年度から広島大学附属福山高校と高大連携協定締結。
2017 年度から岡山県立井原高校、岡山県立笠岡高校と高大連携協定締結。

開講年度	公開授業（申込者数）		公開講座（申込者数）		科目等履修 ※公開授業に含む	
2002 年	92 講座	157 人	24 講座	153 人		
↓	↓	↓	↓	↓		
2007 年	120	201	78	1,299	23 講座	27 人
2015 年	50	46	90	1,548	16	4
2016 年	61	30	120	1,329	15	6

大学へ行こうウィーク

おおむね 8 月 1 日～10 日の間に開講される授業、講座を、「大学へ行こうウイーク」としてチラシを作成し広報。
［2016 年度：公開授業 4 大学 5 科目・公開講座 14 大学 4 短大 61 科目］

備北地域の高校の人材育成のためにより高度な学習機会の提供

中高大連携公開講座「大学で何を学ぶか」
・７月の金または土曜日に開催
（三次地区・庄原地区・安芸高田地区）
・中学 3 年生も受講可能な科目
・キャリア講座「大学卒業後の進路講座」
・「高校生、保護者対象講座」（三次地区開講）

高大連携遠隔授業
・大学と高校をインターネット回線で結び双方向の授業を実施。
［実施大学：広島経済大学、広島修道大学・実施校：三次高校、庄原格致高校］

＜備北地域実施状況＞

開講年度	中高大連携公開講座（受講者数）		高大連携遠隔授業（申込者数）	
2007 年	56 講座	1,302 人		
2009 年	63 講座	1,564 人	13 講座	194 人
2015 年	59 講座	1,255 人	4 講座	120 人
2016 年	58 講座	1,283 人	4 講座	109 人

高大連携研究交流会

高校と大学の連携を促進するために 2005 年より開催。
「アクティブ・ラーニングと高大接続」
［2016 年度参加者：高校関係 20 校 37 人、大学関係その他 170 人、合計 207 人］

生　涯　学　習　事　業

経緯

1999 年度から共同開催講座と連携公開講座を広島県立生涯学習センターにおいて開講。
2001 年度から広島県教育委員会と「ぱれっとカレッジ」を広島県立生涯学習センターにおいて開講。
2002 年度から広島市教育委員会と「シティカレッジ」を広島市まちづくり市民交流プラザで開催。
2003 年度から講座情報をホームページで公開。
2005 年度から公開講座「これからの教師像」を開講。
2009 年度より「ぱれっとカレッジ」「シティカレッジ」あらたに「エニカカレッジ」を加え、総称を「ひろしまカレッジ」とし、ＩＣカード受講証を発行。ひろしまカレッジ交流会の開催。メールマガジン（講座情報）配信開始。
2010 年度よりひろしまカレッジとして「大学で開講する公開講座」開講。
2014 年度より「ぱれっとカレッジ」を休止、サテライトキャンパスを会場とする「サテライトカレッジ」を開講。

ひろしまカレッジ

IC 受講証を活用し、受講受付・受講履歴の確認

ＩＣカード受講証

企業との連携

メールマガジン（講座情報）配信

［登録者数 約 335 人・配信数 15］

2016 年度登録者数・延べ受講者数

講座区分	①	②	③ 教師像	③ 研修会	④	計
登録者数	492	518	166	465	1,193	2,834
延べ受講者数	1,300	1,662	741	459	1,893	6,055

①シティカレッジ 11（44）　※広島市・(公財)広島市文化財団ひと・まちネットワーク部と共催
②サテライトカレッジ 9（53）　※サテライトキャンパスひろしまで開講
③エニカカレッジ　これからの教師像 1（5）　研修会 5（5）
④大学で開講する公開講座 8（24）　合計 34（131）
ＩＣカード受講証を活用していない講座を含む。（　）内はコマ数を表す。

地　域　社　会　と　の　連　携

中国新聞キャンパスリポーター制度

・所属大学に関するニュースや話題、地域課題、課外活動などを取材して、中国新聞紙面「キャンパスリポーター発」や HP サイトに投稿。
・地元企業のトップなどへのインタビュー記事「学生リポーターが聞く」
・記事の書き方、写真の撮り方などの研修会を実施。
・年間を通して優秀な学生を表彰（最優秀賞、優秀賞、奨励賞）
・中国新聞キャンパスリポーター交流会の開催。
・学生リポーター企画の研修交流会を開催。

［2016 年度 11 校 32 人新規登録、在籍者数 127 人］

ひろしまフラワーフェスティバル「折りづるみこし連」

平和の祭典ひろしまフラワーフェスティバル「折りづるみこし連」パレードに参加

［2016 年度 3 大学　交換留学生を含む 49 人参加］

広島の中心から元気を発信しよう！

「大学競宴！シャレオ大学生コンサート」

“広島の大学生の歌声や演奏で広島の街を盛り上げたい”学生たちによる合同コンサートをシャレオ中央広場で開催

［2015 年度 5 校・2016 年度 9 校・2017 年度 9 校参加］

ひろしま地域カード連携コンソーシアム　2012 年 4 月 6 日設立

中国新聞社・PASPY 運営協議会・広島銀行・一般社団法人教育ネットワーク中国（幹事会員）各種カードの連携による地域活性化に向けて活動及び会員向け勉強会を開催。

教　職　員　研　修

	2006 年度	2009 年度	2015 年度	2016 年度
講座数	7 講座 →	5 講座 →	6 講座	5 講座
参加者数	385 人 →	386 人 →	590 人	459 人

日程	2016 年度　教職員研修会　テーマ	参加数
第 1 回 5/21（土）	新入および概ね入職 3 年以下の事務職員を対象とした集合研修 「これからの大学職員」 講演：「2018 年度問題を考えよう」 ・グループワーク	50
第 2 回 7/23（土）	「大学設置基準の改正に伴うＳＤの義務化に向けて」 事例報告 1「広島修道大学のＳＤへの取り組み」 事例報告 2「職員研修の体系化の取組みについて」 事例報告 3「広島経済大学のＳＤの現状について」	47
第 3 回 2/18（土）	「これまでの大学 IR、これからの大学 IR」 ※大学行政管理学会地区研究会との共催 講演：「IR の基本と活用事例」	51
第 4 回 3/3（金）	「アクティブ・ラーニングと高大接続」 ※県立広島大学・高大連携研究交流会との共催 講演：「高等学校におけるアクティブ・ラーニングと高大接続改革」	207
第 5 回 3/7（火）	「アクティブ・ラーニングに取り組むために ～コミュニケーション能力を引き出す～」 ※比治山大学・同短期大学部との共催	104

［2016 年度 20 会員校 378 人、他大学ほか 81 人、計 459 人］